

内視鏡外科領域は手術手技の工夫とテクノロジーの革新によって進歩してきました。新しいテクノロジーを外科医療に導入するにあたり大切な理念は、「有用性と安全性を確認すること」、「従来法より優れていること」、「術者がテクノロジーをマスターできること」、「経済性があること」であると、故出月先生の本誌創刊の辞を渡邊理事長がご紹介されています。2016 年より編集委員を拝命し、約 1 年が経過しましたが、この理念が今後も引き続き踏襲されるべき大切なものであると再認識しています。

東京都文京区の医学書院会議室で 2 か月に 1 回行われる編集会議は、重要であることはもちろん私にはとても楽しみなものです。投稿される論文数はとても多く、内容も驚くような創意工夫と真面目な取り組みが紹介されています。これらの投稿論文について各領域のリーダーの編集委員の先生方と討論することは、またとない貴重な経験です。一方で札幌から片道 5 時間の日帰りでの会議出席は、さながら「弾丸ツアー」そのものです。渡邊先生をはじめ編集委員の先生方、関係者の皆様には、諸般の事情につきいつもご配慮いただき感謝申しあげます。その分、査読には本誌の理念にしたがって真剣にあたっています。第 22 巻第 1 号には、原著 2 編、症例報告 13 編、私の工夫 1 編の計 16 編の論文が掲載され、とても興味深い内容となっていますので是非ご一読ください。

2016 年のプロ野球日本シリーズは、日本ハムが連日の激戦の末広島を下し、10 年ぶりの日本一を決めました。決着がついた第 6 戦の視聴率は両軍の地元でともに平均 50% を超えました。「若手スター選手」の活躍により、「観る者を魅了する試合内容」が続いたと思います。若い人が活躍すると、その業界全体が活性化します。スポーツの世界のみならず医療の世界も同様です。活性化のために若手医師の果敢なチャレンジと活躍が求められています。本誌への投稿により、「若い外科医」はその査読過程で研鑽され、結果として本誌は「読む者を魅了する論文内容」を保ち続けることが期待されます。

(竹政伊知朗)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 22 巻 第 1 号) 2017 年 1 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価: 本体 2,800 円 + 税 * 会員には毎号送付されます。

2017 年 年間購読料: 冊子版 16,380 円 + 税、電子版 (個人) 16,380 円 + 税、冊子 + 電子版 (個人) 19,380 円 + 税 (配送料: 医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 池田, 小倉)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2017, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 水野, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

十二指腸悪性狭窄に対する腹腔鏡下胃空腸バイパス術に関する

検討二川康郎・他 東京慈恵会医科大学附属第三病院外科
 抗血栓薬内服症例に対する緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術吉本匡志・他 福山市民病院外科

●症例報告

Upside down stomach を伴う進行胃癌に対して腹腔鏡下手術を

施行した 1 例石橋脩一・他 島根大学医学部消化器・総合外科
 傍ストーマヘルニアと腹壁癒痕ヘルニアの合併に対し腹腔鏡下

Sugarbaker 法を施行した 1 例渡邊善正・他 さいたま市民医療センター外科
 妊娠 16 週に単孔式腹腔鏡下虫垂切除術を施行した

1 例笹田大敬・他 つがる総合病院一般・内視鏡・心血管・乳腺外科
 上部消化管造影検査後に発症した結腸穿孔によるバリウム腹膜炎に対して

腹腔鏡下手術を施行した 2 例野々山敬介・他 刈谷豊田総合病院外科
 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術後の右横隔膜ヘルニア横行結腸嵌頓に対して

腹腔鏡下修復術を施行した 1 例今村清隆・他 手稲溪仁会病院外科
 単孔式腹腔鏡下手術デバイスを用いて経肛門的直腸腫瘍切除術を施行

した 2 例上田 翔・他 静岡市立静岡病院消化器外科

●私の工夫

腹臥位胸腔鏡下食道切除術における 106 recL リンバ節郭清—反回神経麻痺を回避

するための手技の工夫岩橋 誠・他 和歌山労災病院外科
 細径把持鉗子を活用した腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の

実践益池靖典・他 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科
 Modified scroll Technique を用いた腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術蛭川浩史・他 立川総合病院外科

腹腔鏡下手術時におけるトロッカーからの新しいセブラフィルム®投入法

(クラッカー法)の考案中山智英・他 北海道消化器科病院外科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。